

学びをひろげる (第20回)

※ ○は、自分以外の参加した人の数です

まる (わたしと○人の会)

日時 2017年4月15日(土) (午後1時45分~5時)
場所 クレオ大阪東
大阪市城東区鳴野(しぎの)西 2-1-21 ☎06-6965-1200
参加費 500円(会場費・運営費等) ※学生は、無料です。



京橋駅 (JR線) 南口から南へ約600メートル
大阪ビジネスパーク駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)
4番出口から東へ約700メートル
京橋駅 (京阪線) 中央口から南へ約850メートル

一人で拡がらない学びを○(まる)人が集まり、多様な人たち(年齢、国籍、職種など様々な人たち)との出会い・対話を通して自分の学びを拡げ、授業づくり・教材づくりをしませんか。もう一度、教育・授業のあり方をていねいに見つめ語り合しましょう。

前回 第19回の内容

これまでの3年半に渡る18回の研究会を振り返って 総括と展望

最初に堀智晴、山本卓雄、松森俊尚の3人のスタッフからこれまでの18回の研究会の内容を「ごく簡単に」説明。その後、スタッフそれぞれが自分の考える「総括」を話しました。

▼(堀) これまでを第1ステップとすれば、これからが第2ステップ。厳しい社会や学校現場に一矢を報いたい。研究会を現代社会と教育界に対して問題提起できる内実のあるものにしていきたい。▼(山本) 一人ひとりの学びをこの会で拡げ、深めることができたのだろうか。様々な人たちが参加して、全員が発言をすることができて、参加者の意見を大事にして、少しは深めることができたのではないかな。しかしもっと深めるにはどうすればよいか。▼(松森) この会を最初に構想したメモを配って振り返る。参加者全員が発言でき、それがおしゃべりとなって続き、やがて議論が生まれる、そんな研究会の雰囲気が何より面白いし、今後とも大切にしていきたい。

スタッフからの提案を受けて話し合いました。①全員が気持ちを楽しんで発言でき、議論も生まれるこの会の雰囲気をこれからも大切にしたい。少人数の研究会だからこそできること。人数を集めることを目的にはしないで運営したい。②若い教員や教職に就く前の人たちにも参加してほしい。研究会の内容を多くの人たちに知ってもらいたい。③課題を1回で終わるのではなく、継続して追求したい。共通認識をつくる。④いろいろな人が参加する、子どもが参加する、現場に足を運ぶ、ワークショップをするなど、より具体的に現場的な内容を考える。⑤①と②は矛盾するようだが、どちらも大切。2~3か月に一度のペースでは、②③④を実践するのは無理。⑥そこで、インターネットを活用。ホームページとフェイスブックを開設する。参加できなくても情報がほしい人、意見を表明したい人…をつなぐ。ワークショップを動画で流すことも可能。⑦研究会以外の場でも、相互に連携をとりながら現場に足を運ぶ機会をつくって行きたい。—

気楽に参加できて、何かしら発言したくなる、つついとおしゃべりになってしまって、気が付いたら議論が生まれていた、それがこの会の一番の持ち味のような感じです。これからも気兼ねなく参加してください。



研究会のようす

今回 第20回は

ワークショップ“松井さんの美術の授業” 松井直哉さん提案 (現在、東大阪市の小学校勤務)

私が中学校で美術の教師をしていた頃、入学してきた1年生の初めての授業では、私なりの美術に対する考え方を披露することから授業をスタートしていました。今回はそんな授業をベースに授業を考え提案させていただきます。

私の美術に対する考え方の中核にあるのは「絵なんか下手でもいい。」ということです。詳しくは当日感じていただくと、「絵をかくという行為とは何か」ととどまらず「人間は何のために学習するのか」ということまで思いを馳せることができたなら素敵だなと思っています。新年度の忙しい時期ですが気楽に授業を受ける気分で参加していただければ幸いです。

絵をかくという作業も予定していますが、かきたくなければかかなくてもかまいません。

「学びをひろげる」スタッフ 堀 智晴、松森 俊尚、山本 卓雄、松井 直哉
連絡先 松森 (☎090・1960・3469 ☒gakimon57tm@ezweb.ne.jp ☒matumori@crux.ocn.ne.jp)
山本 (☒yamamoto5.cham@gmail.com) 堀 (☒hori720@hotmail.com)

★次回第21回研究会は、2017年7月1日(土) 午後1時45分~5時 クレオ大阪東(予定)にて★